

平成28年度 産業技術連携推進会議 近畿地域部会デザイン分科会 議事録

日時：平成29年1月27日（金）13:30～16:30

場所：ラコリーナ近江八幡 会議室
滋賀県近江八幡市北之庄町615-1

参加：7機関11名（配布資料参照）



ラコリーナ近江八幡メインショップ

1. 挨拶

滋賀県工業技術総合センター 所長 月瀬 寛二

2. 議事

①各機関の事業、活動報告（配布資料参照）

【大阪府産業デザインセンター】・デザイン担当者4名（内非常勤2名）。・「デザイン総合相談」の概要と成果について。事業計画までを作成支援し、その後はマッチングが主な仕事。・新商品開発マニュアルの活用について。

【京都府中小企業技術センター】・デザインの勉強会。いいデザインはいいコンセプトでできている。グッドデザイン賞をとるシミュレーションをすることでコンセプトを突き詰める。・経営者のデザイン教育の支援。

【奈良県産業振興総合センター】・組織の変更。・デザイン研究「見守りシステム」、「裸足ランニング用ソックス」など。

【福井県工業技術センター】・サンドーム福井に「福井ものづくりキャンパス」設置。

【滋賀県東北部工業技術センター】・繊維試織開発システムの紹介。・研究開発「バーチャル仏壇アプリケーション」。・デザイン指導「商品写真撮影」など

【滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場】・坪庭用資材の開発と作品展。・信楽焼を海外展開「信楽坪庭」。・TEIBAN 商品開発研究会にて空間づくり実験。

【滋賀県工業技術総合センター】・共同研究「和紙とエレクトロニクスの融合による新商品創出に関する研究」他。

②近畿地域部会デザイン分科会について（配布資料参照）

・平成28年度活動報告（別紙1）が、事務局から提案され承認。こらぼんWebの運営や投稿方法等について検討。その意見を全国会議へ提案していくことを引き継ぐ。

・平成29年度事務局の選任 奈良県産業振興総合センターとして了承。
・平成29年度活動方針（案）について（別紙2）が奈良県産業振興総合センターから提案され承認。

③意見交換

・非常勤職員をどのように雇われたか？→書類審査と面接により2名採用。大手メーカーとデザイン事務所出身。

・地元企業が新規にデザイナーを雇用した実績はあるか？→大阪と京都では実績あり。

・地場産業と密接に関わっている公設試があるが、地場産業の現状について？→地場産業は業界の売り上げが下がっているが、同時に事業数も少なくなっており、食べていけない。そのため危機感がない人が多い。その中でも若い人たちはやる気を出して取り組み成果が出てきている。



本社3階会議室で会議、机なし

④ラコリーナツアー

ツアーは、松本徹様、新谷朋子様、植西恵利子様が行き、随時質問を受けていただいた。

たねやすべてのお菓子が揃っているメインショップ、そしてコンテナショップ。自然の糧をいただく農業を学ぶ田んぼ。日牟禮八幡宮へ続く七つの石。140年にちなんだ栗の柱があるカステラショップ。ラコリーナのスケッチや模型が展示されている藤森ミュージアム。近江八幡の豊かな自然に囲まれたラコリーナを一望できる展望室。などを見学。

その後、一般では入れない本社事務室、デザイン室を見せていただく。

デザイン室は、店舗で使用するための資材やディスプレイして確認するためのショーケースなどが整然と配置されていた。

見学後の質疑では、年商や従業員数。デザイナーの人数等の質問があった。デザイナーはパッケージが5名、ディスプレイが5名。簡単なデザインなら営業もできるとのこと。お菓子のデザインについて尋ねると、「お菓子のデザインは職人がする」と回答。

最後に、この施設に来れば、何か面白いお菓子があると思ってもらえたらいい。と松本様が語られた。

以下、見学写真

